

授業科目名： バスケットボール	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 1単位	担当教員名： 高木由起子
			担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・体育実技		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>(1) バスケットボールに必要な基本技術である「パス」「ドリブル」「シュート」のコツを修得し、ICTを用いて理解を深める。</p> <p>(2) ルールを正しく理解し、起こり得る危険と安全を管理していく方法を理解する。</p> <p>(3) バスケットボールのつまづきからの手立てを修得する。</p> <p>(4) バスケットボールで「主体的、対話的で深い学び」を修得する。</p>			
授業の概要			
<p>バスケットボールは、中学校・高校の体育授業において多く用いられている種目であり、生徒が興味、関心を持つ教材でもある。しかし、ボールを操作する技術やゴールに向かって空間への移動を苦手とする生徒が多く、体育授業では試合形式行われることが多い。そこで本授業では、基本技術を身につけるとともにICTやグループディスカッションを実施することで、学生同士の主体的で対話的な深い学びに繋げていく。</p>			
授業計画			
<p>第1回 学習指導要領の位置付け</p> <p>第2回 ボール慣れ</p> <p>第3回 ドリブルの基本技術（1）その場でボールをつくを身につける</p> <p>第4回 ドリブルの基本技術（2）動きの中でボールをつくを身につける</p> <p>第5回 パスとキャッチの基本技術（1）その場でパスを受けるを身につける</p> <p>第6回 パスとキャッチの基本技術（2）動きの中でパスを受けるを身につける</p> <p>第7回 シュートの基本技術（1）ドリブルレイアップシュートを身につける</p> <p>第8回 シュートの基本技術（2）ジャンプシュートを身につける</p> <p>第9回 シュートの基本技術（3）セットシュートを身につける</p> <p>第10回 シュートの基本技術（4）ミートシュートを身につける</p> <p>第11回 戦術（1）空間に走り込む動きや状況に応じてゴール前への侵入を身につける</p> <p>第12回 戦術（2）連携プレーの基本的なフォーメーションを理解する</p> <p>第13回 実践演習（1）実践での自己やチーム課題、攻防</p> <p>第14回 実践演習（2）審判法、指導法を身につける</p> <p>第15回 授業まとめ</p> <p>実技試験</p>			
スクーリングでの学修			
バスケットボールを通して、技術修得や指導に必要な学び（主体的、対話的で深い学び）をグループディスカッションなどで横断的に学ぶ（全15回）。			
テキスト			
特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。			
参考書・参考資料等			
<p>公益財団法人 日本バスケットボール協会編『バスケットボール指導教本 改訂版 上巻』（2014） 978-4469267624</p> <p>公益財団法人 日本バスケットボール協会編『バスケットボール指導教本 改訂版 下巻』（2014） 978-4469268027</p>			
学生に対する評価			
スクーリング評価（20%）、実技テスト（80%）			